

広報 にしあいづ

No. 687

1

2016
(平成28年)



本年が皆さんにとって
幸多き年でありますように

- P 2～3 新年のごあいさつ
- P 4～5 新年の抱負
—年男・年女インタビュー—
- P 6～7 功績をたたえ
—自治功労者表彰式から—
- P 8 始まります。マイナンバー
- P 9 12月町議会定例会報告

寿 春

新年のごあいさつ



西会津町長 伊藤 勝

新年明けましておめでとうございます。

本年も町民の皆様にとって健康で豊かな年でありませうよう、心からお祈り申し上げます。

健康がいちばんを掲げて

「町民の皆様が毎日健康で快適な生活を送れること」が町の一番の願いです。今年も「健康がいちばん」を掲げ、食・運動・健診の連携を図り、日本一の健康の町づくりに努めます。

本年も健康寿命の延伸をはじめ、一人一運動の推進、健診受診率の向上、食と健康をテーマとした健全な体力づくりに取り組んでまいります。

町民憲章を指針に

町制施行60周年を契機に制定した西会津町民憲章は、町民の皆様への行動規範を示すものです。この町民憲章に掲げる精神のもと、協働の町づくりにまい進してまいります。

地方創生実行に向けて

町の人口減少対策として、「西会津町まち・ひと・しごと創生総

合戦略」を昨年12月に策定しました。今後5年間で集中して取り組んでまいりますので、次の基本方針について皆様のご理解とご協力をお願いします。

まずは、町の資源を活かすことであります。

町にある豊かな自然や気候、風土を活かし、農林業の振興に努め、仕事づくりと雇用の創出に取り組みます。本年から森林活用による木質バイオマス施設の整備に向け、検討を進めてまいります。

次に、ひと・地域力を活かすことです。

食や文化、史跡の活用と人材を活かした地域づくりを強化します。観光を新たな町の産業と位置付け、観光ガイドの配置や、農家民宿、国際芸術村の充実に取り組み、交流人口の拡大に努めます。

3点目は、充実した環境を活かすことです。

子育て・教育・福祉の充実した町の施設と政策を活かし、定住を促進していきます。子育てでは、認定こども園を平成28年度中に完成させ、平成29年4月

に開園します。教育では、小中一貫教育の導入に向けた審議会を設置し、平成28年度中に課題を検討・整理します。福祉では、診療施設と老人保健施設の連携に努め、地域包括ケアによる高齢者福祉の充実を図ります。

住んでみたい、行ってみたい町を目指して

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で掲げた将来人口目標は25年後の平成53年に3千800人と設定しました。人口減少を抑制するため、具体的な施策を平成28年度から本格的に実行していきます。

町民の皆様と同じ目線に立ち「住んで良かった」と思える町づくりに取り組み、そして「住んでみたい、行ってみたい町」を目指し、全力を傾注してまいります。

申(猿)年にあたって

今年は申年です。悪いことが去る、病に勝るなどといわれます。町では、「風評被害が去る」と、「町づくりは他市町村に勝る」ことなどを念頭に、行政執行に努めます。町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



西会津町議会議長 武藤道廣



新年おめでとうございます。
町民の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、町議会に対しまして、特段のご支援・ご高配を賜り、心から感謝申し上げます。

【議会活性化の取り組み】

私ども町議会議員にとって昨年は、町議会議員一般選挙が行われ、新たな議会組織および体制づくりの年でした。

具体的には、議会活性化特別委員会を設置し、積極的な議会活動の推進や、議員定数などの検討を行い、現在も作業を進めているところであります。

また、活動の一環として、議会報告会の開催、各種団体などとの意見交換会を行い、町民の皆様から厳しくも心強いご意見や貴重なご提言をいただき、ご理解とご協力を賜りましたことに心から御礼を申し上げます。

【地域活性化へ向けて】

さて、現下の町村を取り巻く状況は、過疎化・少子高齢化が進展し、経済面においても地方と都市の格差が拡大するなど、

非常に厳しい課題が山積しております。

特に本町では高齢化率が42パーセントを超え、地域力低下への対応や医療・介護など高齢者への対応、子育て支援、雇用・定住の促進、地域活性化に向けた施策が、喫緊の課題であります。

町議会では、今後も議会基本条例をより具現化するため、さらに公正で透明な開かれた議会の構築を目指し、議会報告会や意見交換会を開催してまいります。

議会の役割、活動の内容を町民の皆様から明らかにして、町民の皆様からいただいたご意見を議会活動に反映させ、住みやすい町づくりの実現に向けて努力してまいります。

また、行政への監視機能や政策提言など、議会の権能を十分に発揮し、研鑽を積み、積極的な議会活動に取り組んでまいりますので、ご理解を賜りたいと思います。

【明るい未来に向け】

本年は、「申年」であります。草木が伸びきり果実が成熟して堅くなつていく状態を表すとい

われています。

昨年「西会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、本年は雇用の場の創出や交流人口の拡大、定住促進や子育て支援などに本格的に取り組むこととなります。

申年にあやかり着実に前進し、果実が成熟して明るい未来が開けるよう、鋭意努力いたします。

【協働による活力と魅力あるまちづくり】

私ども町議会議員は、この新しい年にあたり、心を新たにしてい、町民の皆様との緊密な連携・協働のもと、西会津町を誇りとし、「この町に住んでいて良かった」と真に喜びを実感できるような、活力と魅力ある町づくりの実現に向けて、引き続き懸命に努力し、町民の皆様の負託に応えられるよう頑張る所存であります。

本年も町議会に対し、特段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、町民皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。

新年の抱負



明けましておめでとーございます。

平成28年となりました。皆さん、今年の目標はもう決めましたか？

今年は申年です。恒例の新春特集で5地区の年男、年女の皆さんに新年の抱負や夢を伺いました。

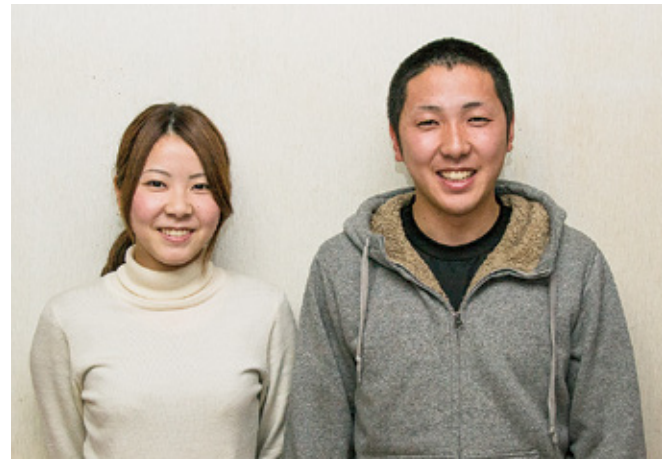
新年が皆さんにとって輝かしい一年でありますよう心からお祈り申し上げます。

志保さん＝去年は勉強に励んだ一年でした。そして今も、2月の理学療法士国家試験に合格することを目指し、大学で日々勉強に励んでいます。

今の楽しみは、昨年姉夫婦の間に生まれたおっ子の翼稀くんと遊ぶことで、週末は必ず遊びに行っています。笑顔やしぐさが本当にかわいらしく、いつも癒やされています。

隼さん＝去年は、けがに泣いた年で、仕事もプライベートも考えたとおりに事が進まず、思い煩うことが多かったような気がします。

今年は、けがに十分気を付け、その上で積極的に仕事に取り組みたいと思っています。また、プライベートでは、野球・ソフトボールなどの好きなスポーツを楽しみ、充実した1年にしていきたいです。



しほ 志保さん はやと 隼さん

●平成4年生まれ 7町内 姉弟



あやか 彩華さん めぐみさん ゆら 勇羅さん

●昭和55年・平成16年生まれ さゆりが丘 親子

めぐみさん＝去年再婚し、西会津町に引っ越してきました。子どもが2人から6人に増え、にぎやかな毎日です。結婚後、夫婦そろって太ってしまったので、今年はダイエットを頑張りたいと思っています。また、すでに6人の子どもがいますが、もう1人欲しいと思っています。町の人口増に貢献したいです。

昨年8月から一緒に住み始めたばかりですので、家族の絆を深め、楽しく過ごしていけたらと考えています。

彩華さん＝去年は家の手伝いや勉強を頑張りました。将来はパティシエになりたいと思っているので、今年はお菓子作りに挑戦してみたいです。

勇羅さん＝去年は引っ越しや転校などがあり、慣れるのに大変でした。今年は学校行事や料理作りを頑張りたいと思っています。



いさむ
佐藤 勇さん きくいさん

●昭和31年生まれ 熊沢 夫婦

一昨年の10月に柴崎・橋立サロンを立ち上げ、昨年はその活動に力を注いできました。4月に参加者でやりたいことを出し合い、よもぎ団子づくりや郷土史の勉強、また、町の保健師さんを講師に健診結果の見方や介護予防について学びました。

今年は内容をさらに充実させるため、町の「いきいき健康づくり教室」で習った体操なども取り入れ、老若男女誰もが心待ちにするようなサロンを目指したいと思っています。

また、自宅で営んでいる農家民宿を通してさまざまな人と出会うことをとても楽しみにしています。全く知らない人と話すことは刺激になりますし、忘れたころに届く便りが日々の生活の励みになっています。今年はどんな出会いがあるか、今から期待が膨らんでいます。

勇さん=4年前に、父の介護をするため東京から西会津に戻ってきました。日々の生活に追われ、本当にあっという間の4年間だった気がします。

今年も、消防団や地域の行事などに積極的に参加したいと考えています。地域の皆さんと話しながらの作業や、その後の楽しいお酒はとても有意義で、仕事への励みにもなります。笑顔で一年を過ごしたいですね。

きくいさん=東京から帰ってきたときは、仕事があるか不安でしたが、大好きな保育士の仕事を続けることができ、楽しく毎日を過ごしています。もしかしたら、東京にいたときよりも充実しているかもしれません。

これからも、お互いを思いやる気持ちをもって、一日一日を笑顔で過ごし、また、前々からの夢である北海道旅行に夫婦で行けたらと思っています。



佐藤 ハルミさん

●昭和19年生まれ 柴崎

軍八さん=昨年は夫婦ともに病気もせず、穏やかな一年でした。杉の下刈りなど森林の手入れをしたり、自家用のナメコ、シイタケを栽培したりしました。

また、年に一度開催する妻の兄弟8人とその家族が一堂に会する「兄弟会」に参加することも楽しみの一つで、昨年は名古屋に行きました。

今年も二人で元気に暮らしていきたいと思っています。

武子さん=夫は山の手入れで、私は農業に精を出しています。作った米や野菜は自分たちで食べるほか、兄弟に送っています。みんなとても喜んでくれ、それがまた野菜作りの原動力となっています。

私たちが森林の手入れや農業に精を出すのは、健康のためでもあります。適度に体を動かし、二人が共に健康で、元気に暮らせることが何よりも一番です。



ぐんぱち たけこ
井上 軍八さん 武子さん

●昭和19年生まれ 下松 夫婦

功績をたたえ

自治功労者表彰式・自治区長大会・納税貯蓄組合長大会から

特別功労表彰 受賞者インタビュー



元 町消防団第3分団長
鈴木 弘 さん
[下野尻]



元 町消防団第5分団長
宮澤 一一 さん
[山浦]



前 町議会議員
五十嵐 忠比古 さん
[滝坂]



前 町議会議員
長谷沼 清吉 さん
[小清水]

昭和62年に、農業委員会会長の経験を生かし「町政に新風を」との思いで町議会議員に立候補しました。平成の大合併で自立の道を選択したときは議長で、町と話し合いを重ねながら自立宣言、まちづくり基本条例を制定しました。

町議会議員を7期務めることができたのは、多くの皆さんの叱咤激励、ご支援の賜物です。本来にありがとうございました。

町民一人一人がそれぞれの立場で町政に参画することが大切です。私もこれまでの経験を生かし役に立てればと思っています。

立候補のきっかけは、滝坂地区の地滑りでした。地域の声を地滑り対策工事に反映させるため、住民と行政をつなぐパイプ役になりたいと思ったことが思い出されます。

議員として多くの人と出会い、さまざまな考えを聞き、また先進事例を学び、大いに見識を深めさせていただきました。これからも、一町民として町勢発展のお手伝いができればと考えています。今回の受賞は、支えてくださった皆様のご支援、ご指導、ご協力あつてのもので、本当にお世話になりました。

私が消防団に入団した昭和37年ごろは、消防団に入らないと一人前の男と認められないような時代でした。消防施設など無く、腕用ポンプ(手もみポンプ)があるのみで、今思うと非常に懐かしく感じられます。

今回の受賞は本当に驚いています。これも消防団の皆さん、そして何よりも家族の協力があつたからこそだと思っています。これからも、微力ではありますが町の発展に協力していきたいと考えています。

規律的で敏速な行動に憧れ消防団に入団しました。1年目に経験した地元の大火は今でも忘れられません。また、消防団活動では、平成5年に東京ドームで行われた自治体消防45周年記念大会に参加し、天皇皇后両陛下をご覧になられる中、記念演技を披露したことが印象に残っています。

今回このような表彰をいただき、大変光栄に思っています。皆様のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。今後も消防支援隊として予防消防に努め、地域に貢献したいと思います。

今回このような表彰をいただき、大変光栄に思っています。皆様のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。今後も消防支援隊として予防消防に努め、地域に貢献したいと思います。



受賞者を代表し謝辞を述べる
長谷沼清吉さん



特別功労表彰を受け取る
宮澤一一さん



会場の様子

今

年度の自治功労者表彰式・自治区長大会・納税貯蓄組合長大会は11月25日、町公民館で開かれ、長年にわたり町政の向上発展に貢献された皆さんに伊藤町長から表彰状や感謝状が贈られました。

表彰式では、伊藤町長が「受賞者の皆さんの長年の功績に深く感謝します。町では、引き続き町民の皆さんと同じ目線に立ち、真に住んでよかつたと思える明るく豊かなまちづくりを努めていきます」と式辞を述べました。

次に武藤道廣町議会議長がいさつし、その後、出席した受賞者に伊藤町長が表彰状や感謝状を贈りました。

式の最後には、町議会議員として7期28年の長きにわたり町議会の伸展と町政の向上発展に尽力し、特別功労表彰を受賞した長谷沼清吉さんが「多くの皆さんの支えがあつての受賞です。これからは、これまでの経験を生かして町政の伸展に貢献していきたいと思えます」と受賞者代表謝辞を述べました。

今年度は、特別功労表彰が4人に、善行表彰が2人と1団体に贈られ、また、自治区長永年勤続者4人、納税貯蓄組合長永年勤続者3人に感謝状が贈られました。

表彰式後の第2部では、町内各所で若い視点や柔軟な発想力と行動力で人と人をつなぎ、地域活性化に向けたさまざまな活動を行う「地域おこし協力隊」の活動報告が行われました。

平成25年6月に町で初めての隊員として着任し、デザイン・アートイベントの企画などに携わる小堀晴野さん、翌26年5月に着任し、観光・ツーリズムの推進に奮闘する横山萌美さん、同6月に着任し加工品開発・6次化産業の推進に力を注ぐ仲川綾子さん、そして昨年5月に着任し移住定住・空き家活用への推進に奔走する荒海正人さんの4人が自身の活動についてそれぞれ発表しました。

来場した皆さんは隊員の発表に熱心に耳を傾け、地域おこし活動の重要性をあらためて考えました。

◀ 活動報告を行う小堀晴野さん



平成27年度 表彰者・感謝状贈呈者 [敬称略]

自治功労者表彰・特別功労表彰

前 西会津町議会議員	長谷沼 清 吉
前 西会津町議会議員	五十嵐 忠比古
元 西会津町消防団第5分団長	宮 澤 一 一
元 西会津町消防団第3分団長	鈴木 弘

自治功労者表彰・善行表彰

有限会社伊藤電機 代表取締役	伊 藤 眞 一
* 西会津小学校に加湿空気清浄機を寄付	
川口屋タンス店	川 口 良 平
* 子どもたちのために図書館用備品を寄付	
西会津ライオンズクラブ	
* 西会津小学校校舎に校歌碑および絵画を寄付	

感謝状贈呈・自治区長永年勤続者

前 西平自治区長	10年勤続	三 留 智 篤
四岐自治区長		大 沼 喜 明

感謝状贈呈・自治区長永年勤続者

荒木自治区長	5年勤続	岩 橋 敬 二
大舟沢自治区長		五十嵐 靖 夫

感謝状贈呈・納税貯蓄組合長永年勤続者

6の2納税貯蓄組合長	20年勤続	田 中 英 喜
------------	-------	---------

感謝状贈呈・納税貯蓄組合長永年勤続者

前 白坂第3納税貯蓄組合長	15年勤続	故 佐 藤 ト ク
---------------	-------	-----------

感謝状贈呈・納税貯蓄組合長永年勤続者

四岐納税貯蓄組合長	10年勤続	大 沼 喜 明
-----------	-------	---------

始まりです。 マイナンバー

マイナンバー(個人番号)の通知カードはお手元に届きましたか。1月から、申請により個人番号カードの交付が始まります。この個人番号カードは、本人確認の際の身分証明書になるなど、さまざまなメリットがあります。今月号では、個人番号カードの申請方法について説明します。

個人番号カードの申請方法

個人番号カードの申請方法は、町役場の窓口で申請する「窓口申請」のほか、郵便申請、パソコンやスマートフォンなどから行うWEB申請があります。

町役場の窓口で申請する方法です。この場合、申請時に本人確認書類が必要です。また、顔写真は事前に準備し、持参してください。完成したカードは本人限定受取郵便などで自宅に届きます。被災者などやむを得ない理由などで西

届いた封筒に入っているもの



① 通知カード

あなたのマイナンバー(個人番号)が記載されています。ミシン目に沿って切り離し、大切に保管してください。個人番号カードの取得にも必要です。

② 個人番号カード交付申請書

必要事項を記入し、写真を貼れば簡単に申請ができます。詳しくは③説明用パンフレットをご覧ください。

③ 説明用パンフレット

④ 返信用封筒

郵送で申請する場合に使用してください。

申請のポイント

表面

個人番号カード交付申請書
マイナンバーカード交付申請書
(地方公共団体情報システム機構 宛)

申請書ID 1234 5678 9012 3456 7890 123

番号 花子
氏名

住所
〇〇県〇〇市△△町◇◇丁目〇番地▽▽号

生年月日* 平成元年3月31日 性別* 女

電話番号
電話番号 〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇

右欄の赤字表記を希望する
(※最大11文字まで(漢字等は1文字))

QRコード

裏面

顔写真添付欄

サイズ
(縦 4.5cm×横 3.5cm)

申請日 年 月 日

申請者氏名(自署) 印

③ 以下の電子証明書の詳細については、同封の「ご案内」をご覧ください。

発行を希望しない電子証明書がある場合、下の口を黒く塗りつぶしてください。

署名用電子証明書※ 不要 ※15歳未満の方、成年後見人の方に発行されません

利用者証明用電子証明書 不要

【ご注意】電子証明書は、e-Tax等の電子申請、マイナンバーポータルへのログイン、コンビニ交付サービスなど多様なサービスを提供するためのものです。

口を塗りつぶす場合には、電子証明書の機能が搭載されないこととなります

④

代理人氏名(自署) 印 本人との関係

代理人住所 (電話番号)

会津町以外に居住している場合、居住している市町村の窓口で申請することができます。詳しくは町役場町民税務課または居住している市町村に問い合わせください。

郵便・WEB申請

郵便またはパソコンやスマートフォンなどのWEBから申請する方法です。この場合、完成したカードは町役場で受け取るようになります。本人確認書類が必要ですので、忘れずに持参してください。

暗証番号

個人番号カードの作成には、暗証番号の設定が必要となります。窓口申請の場合は申請時に、郵便・WEB申請の場合は受け取りの際に設定します。

申請のポイントは左図・下記のとおりです。

〈問い合わせ先〉

町民税務課 ☎45-2215
マイナンバー全国共通ナビダイヤル ☎0570-20-0178

① 氏名、住所を確認

記載されている氏名、住所などに誤りがないか確認してください。誤りや引っ越しなどによる変更がある場合は町役場町民税務課までご連絡ください。

② 電話番号を忘れずに

日中つながりやすい連絡先を記入してください。

③ 太枠内はしっかりと

申請日を記入し、氏名は申請者本人が署名するか、記名押印してください。

④ 顔写真を添付

顔写真は、正面・無帽・無背景で、最近6カ月以内に撮影したものを添付してください。また、裏面には氏名・生年月日を記入してください(サイズは縦4.5cm×横3.5cm)。

12月 町議会 定例会報告



12月4日から9日までを会期に開かれた12月定例会では、社会保障・税番号(マイナンバー)制度の利用開始に向けた条例の制定や、各種条例の一部改正、今年度補正予算など議案16件が審議されました。町政の主要事項報告の内容、可決された議案は次のとおりです。

町政の主要事項 報告から

まち・ひと・しごと創生 総合戦略の策定

平成27年5月から、「まち・ひと・しごと創生総合戦略策定町民会議」の委員21名と、町職員15名で組織する「総合戦略策定部会」が連携し、また、アドバタイザーで「i・c・l・u・b(アイ・クラブ)」代表の小川悠さんに指導・助言をいただきながら策定作業を進めてきた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、町民懇談会での意見などを踏まえて最終的な調整を行い、このたび原案が完成しました。

本戦略は、「安定した雇用の創出」「新しい人の流れづくり」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「安全に暮らせるまちづくり」の4つを柱としており、町では今後5年間、これを基に積極的な人口減少対策に取り組んでいきます。

野沢地区都市再生 整備事業

平成25年度から取り組んでいる「原町ポケットパーク事業」(仮称)町道上原中央線新設事業「野沢駅通り公園整備事業」のうち、「原町ポケットパーク事業」は、移転が必要だった家屋の所有者と協議が整い、解体・撤去を行っています。今後は、地区の皆さんと意見交換を行いながら、魅力ある公園となるよう整備を進めていきます。

乳がん検診受診助成事業

昨今の乳がん検診への社会的関心の高まりにより、町内でも受診希望者が増加し、町で契約している医療機関での受け入れ枠を超える状況となったことから、町では、これまでの検診に加え、自費で受診した際の負担額を補助する「乳がん検診受診助成事業」を実施することになりました。これまで以上に受診機会が増えることから、乳がんの

早期発見や予防効果向上が期待できるものと考えています。

西会津産米の 販売促進活動

平成26年産米の大幅な価格下落に対し、平成27年産米はやや持ち直したものの、買い取り価格は依然低迷したままです。

このことから町では、西会津産米をPRするため、昨年度に引き続きふるさとまつりに併せて「第2回西会津うまい米コンテスト」を実施しました。優勝した米をイベントの景品として来場者にプレゼントしたほか、会場内に西会津産米の販売コーナーを設け、町内外にその魅力をPRしました。今後も積極的にPR活動を行い、販売促進につなげていきます。

総合教育会議の開催

去る10月30日に平成27年度第2回目となる総合教育会議を開催し、教育委員の皆さんと「町教育大綱」の策定について協議しました。中でも、今後の教育において特に重要な「保・小連携の推進」「小中一貫教育制度の導入」の位置づけを図ったところです。今後は、町教育委員会

可決された議案

- ◆平成27年度一般会計補正予算(第5次)
- ◆個人番号の利用に関する条例の制定Ⅱ社会保障・税番号(マイナンバー)制度の利用開始に向けた条例の制定
- ◆附属機関の設置に関する条例の一部改正Ⅱ町小中一貫教育導入推進審議会を設置するための改正
- ◆町税条例等の一部改正Ⅱ地方税法の改正に伴う改正
- ◆平成27年度一般会計補正予算(第6次)
- ◆平成27年度特別会計等補正予算
- ◆社会資本整備総合交付金事業町道野沢柴崎線(橋立3号橋)橋梁上部工事申請負契約の変更契約
- ◆喜多方地方広域市町村圏組合規約の変更
- ◆権利放棄Ⅱ喜多方地方広域市町村圏組合ふるさと市町村圏基金の権利放棄
- ◆教育委員会教育長の任命への同意Ⅱ新井田大さん(小杉山)の任命に同意

教育導入推進審議会」を設置し、導入に係る調査・審議を行っていきます。

まち・ひと・しごと創生総合戦略を町長に報告

町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定町民会議の杉本正充座長とi.Club(アイ・クラブ)代表で同会議のアドバイザーを務める小川悠さんが11月26日、町役場を訪れ、昨年の5月から策定作業を進めてきた「町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の素案を伊藤町長に報告しました。伊藤町長は「長期間にわたり策定作業に尽力いただき感謝します。会議で出された意見を十分に尊重し、人口減少対策に取り組んでいきます」と素案を受け取りました。町では、今後5年間で具体的な施策に取り組んでいきます。[杉本座長(左)と小川悠さん(左奥)から素案を受け取る伊藤町長]



秋の叙勲受章を伊藤町長に報告

11月26日、秋の叙勲で瑞宝小綬章を受章した廣瀬涉さんと、瑞宝双光章を受章した佐藤晃さん、長谷川孝志さんが町役場を訪れ、伊藤町長に受章を報告しました。伊藤町長は「受章おめでとうございます。これからも健康に留意しながら、町勢発展のためにご協力をお願いします」と受章を祝福しました。受章した皆さんは「支えてくれた皆さんのおかげです。今まで培った知識を生かし、地域のためにこれからも励んでいきます」と受章の喜びをかみしめていました。[写真=左から長谷川孝志さん、廣瀬涉さん、伊藤町長、佐藤晃さん]



町内企業が日本赤十字社金色有功章を受章

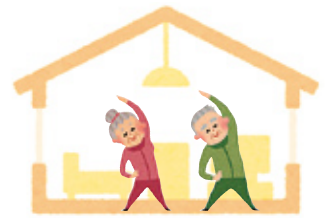
JUKI会津株式会社西会津工場と株式会社アズールが日本赤十字社金色有功章を受章し、12月14日、町役場で伝達式が行われました。式で伊藤町長は「受章おめでとうございます。町にとって大変喜ばしいことです」と祝意を述べ、JUKI会津西会津工場の渡辺修吉工場長と株式会社アズールの檀野秀幸副社長にそれぞれ金色有功章を手渡しました。この金色有功章は、献血活動に20年以上尽力した企業などに贈られるもので、両社は「これからも献血活動を継続していきたい」と抱負を述べました。[写真=左から渡辺修吉工場長、伊藤町長、檀野秀幸副社長]



秋の叙勲 加藤勝さんに瑞宝単光章

加藤勝さん(端村)が秋の叙勲で瑞宝単光章を受章し、12月1日、町役場で伝達式が行われました。式では、伊藤町長が立ち会いのもと、県会津地方振興局の鏡敬文局長が加藤さんに勲記と勲章を伝達しました(写真)。加藤さんは、昭和45年の町消防団入団以来、40年以上の長きにわたり町民の皆さんの安全・安心確保に尽力し、平成16年から2年間は第3分団長を務めました。伝達にあたり伊藤町長は「豪雨、豪雪、災害、消防活動など、町民の皆さんの生命・財産を守るため尽力いただいたことに感謝します。今後も町勢伸展のため、後進の指導をお願いします」と謝意を述べました。





健康づくりは・朝が・いちばん

室内でも
できる
棒体操

棒体操とは

新聞紙を丸めた棒を使い、座ったままでもできる体操です。

棒体操をすることで筋力を維持し姿勢やバランス感覚が良くなります。また、素早く反応する力がつくことなどから、棒体操を続けている人は転ぶ回数が少なくなるといわれています。

この体操の最大の利点は、いつでも、どこでも手軽にできることです。一人でも集団でもできます。週1回以上を目標に取り組んでみましょう。

新聞棒の作り方

新聞紙(朝刊一日分程度)を2つ折りの状態から棒状になるよう固く巻きます。巻き終わったら開かないようにセロテープなどでとめましょう。このとき、開く側から折り目に向かって巻くとすっきり巻けます。

棒を作るのに指先を使うので、脳の体操にもなります。

エンヤートット体操

体を前に倒しながらひじを伸ばし、舟をこぐように体を起こします。「エンヤートット」と声を出しながら行ってみましょう。



太もも上げ体操



両手で持った棒にひざがつくよう片脚ずつ上げます。左右交互に行いましょう。このとき背筋は固定し、後ろに倒れ込まないようにしましょう。



すごいな！むし歯のない子



たいが 齋藤大我くん (山口)



まお 伊藤舞音ちゃん (西林東)



かいと 長谷川魁一くん (松尾)



こてつ 石川琥鉄くん (安座)

11月17日、3歳児5人を対象に健康診査を行った結果、むし歯のない子は4人でした。

体を動かさないと、筋肉や骨はもちろん、心臓・呼吸器なども弱くなります。また、脳が不活発になり、認知機能の低下を招く場合もあります。このように体を動かさないことによって生じる障害を「生活不活発病」と呼びます。生活不活発病にならないためには、家事や趣味、社会活動などを積極的にに行い、日頃から意識的に体を動かすことが大切です。今月号では、室内でもできる運動「棒体操」を2つ紹介します。

里芋と 打ち豆の みそ味 シチュー

30

材料 (2人分)

▼里芋・4個 ▼打ち豆・40g
▼鶏肉(もも肉)・60g ▼ニンジン・½本 ▼小松菜・½束 ▼油・大さじ1 ▼小麦粉・大さじ1 ▼みそ・大さじ1弱 ▼だし汁・1カップ ▼豆乳・1カップ ▼こしょう・少々

作り方

①里芋は皮をむいて一口大に切り、ぬめりを取る。打ち豆はさっと洗い、鶏肉は一口大に、ニンジンはいちよう切りに、小松菜は4cm長に切る。
②鍋に油を入れ、鶏肉、里芋、ニンジン軽く炒める。小麦粉を加え、粉っぽさが無くなるまで焦がさないように弱火で炒める。
③だし汁と打ち豆を加えてしっかりと混ぜ、ふたをして野菜が軟らかくなるまで煮る。
④野菜が軟らかくなったらみそを溶かし入れ、小松菜と豆乳を加えてふたをし、沸騰したらこしょうで味を調える。



チャレンジ!!

シリーズ

食育

おなか(腸)の健康を
考える

●腸が健康だと免疫力&若々しさがアップ



つらい高齢者の便秘トラブル

高齢者は、慢性的な運動不足や食の細さなどから便秘になってしまふことがあります。生活習慣を簡単に変えられない場合が多く、便秘が慢性化し、ますます食欲不振になるといった悪循環に陥ってしまうことも少なくありません。日ごろの心掛けで便秘を予防・改善しましょう。

ポイント 腸内での便の滑りをよくするオリーブオイルやごま油、青背の魚などを適量取るようにしましょう。

腸

は、私たちが思っている以上にさまざまな働きをしています。食べ物を消化・吸収し、排泄物をつくり貯蔵するほか、腸内の菌やウイルスを体外に排出する働きがあります。この働きに一役買ってくれるのが「腸内細菌」です。質の高い腸内細菌が多ければ多いほど、健康的な体が維持でき、美しい姿も保たれます。

健康なおなか(腸)を目指して

食生活の注意点

1 朝食をきちんと食べる

胃に食べ物が届くと、腸が動き始めます。1日の食事のスタートとなる朝食はきちんと食べましょう。起きがけに1杯水を飲むのもまた効果的です。

2 食物繊維を積極的に取る

野菜や海藻、豆類、キノコ類などに含まれる食物繊維は、消化酵素の影響を受けずに大腸まで届き、水分を含んで便を軟らかくし、便の量を増やします。また、腸内細菌の働きを助け、腸内環境を整えるとともに腸の活動を正常化してくれます。

食べ物のほかに運動や心の休養も大切です。ストレスとは上手に付き合みましょう。



さゆり中学で

先生は町民

生徒も町民

祝卒業式



12月1日、「さゆり中学」の卒業式・修了式を町公民館で開催し、今年度は4人の生徒が卒業を迎えました。

卒業後は、希望により来年度以降「さゆり短大」に進学します。

さゆり中学は、「西会津の人から西会津を学ぶこと・さまざまな生涯学習を体験すること」をテーマにしており、主に町民が講師を務め、町の歴史や自然のほか、芸術、文化、スポーツなどについて3年間学ぶ成人を対象にした講座です。

今年度は、1年生3人、2年生2人、3年生4人が受講し、県の認定を受けた「もりの案内人」を講師とした「自然探勝会」や、西会津語りの会の会員を講師とした「民話・昔話教室」、四君子会の会員による「水墨画教室」、国際芸術村関係者による「版画教室」、まんさく俳句会の会員による「俳句教室」、町生涯学習指導員が案内役を務めた「会津三十三観音巡り」など、6月から15回にわたり多彩な学習を行いました。

中学では卒業式、修了式、3年生を送る会など、本当の学校のような行事も行っていきます。



▶ 2日間ですべてを巡った「会津三十三観音」の西光寺御池観音堂で。写真一番左は謝辞を述べた渡邊豊博さん



▲水墨画に挑戦する受講者。講師は四君子会の会員



▲下郷町を訪ねた自然探勝会。講師は森の案内人



▲民話・昔話教室。講師は西会津語りの会の会員

卒業生謝辞より

渡邊豊博さん(さゆりが丘)

誠に充実した3年間でした。楽しいことの連続で、単調な隠居生活にメリハリができて感謝しています。

授業で教師役を務められた森の達人、山の達人、水墨画の達人、版画の達人、語りの達人、体育の達人、マッサージの達人、英会話の達人、郷土史の達人など、西会津町の達人先生方に感謝しています。

私にとって人生の先生とも言うべき素晴らしい先輩、素晴らしい後輩、そして素晴らしい同級生たちに感謝しています。

最後に、多彩で内容盛りだくさんの授業を企画してくれた公民館職員の皆さんに感謝します。



町民バトンタッチ

うりゅう のぶひろ

瓜生 信浩 さん [8町内]

わたなべ しんいち

渡部 進市さん (12月号) からメッセージ

スポーツ少年団から高校の部活動までいつも一緒に子どもたちを応援してきましたね。また、地域の大会に参加させていただきながら楽しいお酒を飲みましょう。

あなたの趣味は？

ウォーキング、温泉巡り

特技は？ バレーボール

熱中していることは？

春から秋にかけての庭の手入れ

最近感動したことは？

末娘が高校総体 (会津地区) で優勝したこと

自分を一言で表現すると？

何事も几帳面

あなたのモットーは？

健康第一

これからやってみたいことは？

夫婦で全国温泉巡り

次の方を紹介してください

J・Aさん (1町内)

大切なものは？ 「結婚25周年を迎えたときに長女からもらったフォトフレームと手紙は私の宝物です」



町民 ギャラリー

西会津ふるさとまつり

(川柳・短歌部門出展作品から)

受賞報告天までとどけ
乱舞するトンプボに託すミネラルの

里山の木々様々な色を見せ
秋天に返へす言葉を見失う

新米は作らぬものが先に食い
機関車も刈取り気になる稲田路

宇多川 洋 (松尾)

和久井正己 (十町内)

武藤 新一 (芹沼)

聞いて！ わたしの夢

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分が思い描く夢や目標を話してもらっています。

今月は生徒会の副会長を務める2年・高野詩音さんです。



わたしの夢——

「私は、まだ将来どのような職業に就きたいかはっきりとは決まっていません。ですが、教育に関わる仕事をしたいと考えています。例えば、美術が好きだから美術の先生になって生徒たちと接しながら仕事をするように、好きなことを生かしながら人との関わりを持つことができる仕事をしたいと思っています。また、物事をさまざまな方向から考えられる、誰にでも優しい大人になりたいです」

努力していること——

「日々の学習では、疑問は必ず解決するように努めています。普段から余裕を持って生活し、周りに気を配れるよう心掛けています」

未来の自分に一言——

「やりたいことを諦めないで、自分を信じて頑張ってください」

まちの人口 ～12月1日現在～ (前月比)

人口	6,942人	(-13人)
男	3,339人	(-3人)
女	3,603人	(-10人)
世帯	2,740	(-4)

戸籍の窓口 ～11月受付分～ (敬称略)

お誕生おめでとう

齋藤 颯くん 光・春華 橋屋



ご結婚おめでとう

長谷川 哲也 松尾
 岩佐 麻依 柳津町
 鈴木 幸政 会津若松市
 穴澤 和香子 西林東



お悔やみ申し上げます

清野 トミ (95)	幸 榮	母	大久保
矢部 充 (83)	尊 士	父	西原
井上 京子 (34)	清 一	子	森野
大関 五郎 (82)	秀 英	父	西林
松若 信一 (73)	登喜子	夫	西林
青津 陽一 (66)	照 雄	兄	縄沢
伊藤 キイ子 (94)	攻	母	徳沢
小原 範子 (78)	進	母	宝川
薄 俊子 (88)	俊 一	母	新村
武藤 ヒデ (91)	武 次	母	八重窪
五十嵐 ヤイ (88)	靖 男	母	小屋



百歳賀寿

井谷の小林スイさんが11月23日に満100歳を迎えました。

賀寿贈呈式では、親族が見守る中、伊藤副町長が賀寿と祝い金を贈りました。小林さんが満100歳になり、町の100歳以上の方は12人となりました。



第26回 西会津雪国まつり 2月13日(土)・14日(日)開催



今年も雪国まつりを2日間開催します。恒例の雪上花火や桐ゲタ飛ばし全国大会のほか、町内外の音楽アーティストによるホワイトステージや、ジョセササイズ(除雪×エクササイズ)サミットなど、西会津ならではのイベントが盛りだくさんです。ぜひご来場ください。

開催イベント

13日(土)

ホワイトステージ/アイスクリーム・キャンドルホルダー作り体験/キャンドルナイト/歳の神/雪上花火/うまいもんまつり

14日(日)

第1回ジョセササイズ全国サミット/桐ゲタ飛ばし全国大会/雪上運動会/丞神デナーショー/スノーモービル乗車体験/バスボム作り体験/サッカー教室/うまいもんまつり

【参加申込・問い合わせ先】

町ふるさと振興推進委員会事務局(商工観光課)
 ☎45-2213

コミュニティ助成事業で防火衣を購入

町では今年度、一般財団法人自治総合センターからのコミュニティ助成を受け、新たな防火衣を購入しました。この助成は、自治総合センターが地域社会の発展と住民福祉の向上を目的に「宝くじの社会貢献広報事業」として行っています。



以下は広告です。内容については、広告主へお問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】

企画情報課・情報政策係 ☎45-4536

ニュース NEWS フラッシュ 振り返る 2015年

昨年1年の西会津町の主な出来事、ニュースを写真で振り返ります。

こゆりちゃん トピックス



[写真]①国内最大級の観光キャンペーン「ふくしまDC」が4月から6月にかけて開催された／②町が運営していた西会津町ケーブルテレビが(一社)西会津ケーブルネットに移行、4月18日に設立祝賀会を開催／③西会津小学校の新校舎での授業開始／④6月6日、24年ぶりにプロ野球公式戦をさゆり公園野球場で開催／⑤ギフチョウ(左)とキマダラルリツバメ(右)の蝶2種を4月16日付けで町重要文化財に指定／⑥フォルクスワーゲン大集合が初めてまちなかで開催された／⑦宮古島市との友好都市協定が10周年を迎え、互いに記念品を贈呈／⑧3年ぶりに交通安全町民大会を挙行／⑨よりっせ隣に建設する地域連携販売力強化施設整備工事の安全を祈願／⑩越後街

道を観光資源とすることを目的に11月29日に越後街道サミットを初めて開催／⑪国道49号藤峠の新たな道路整備に向け用地幅杭設置式を11月4日に開催／⑫まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定／⑬9月8日、交通安全母の会が交通安全功労者交通対策本部長表彰を受賞

今月の表紙

飯豊連峰切合小屋から望むご来光[昨年7月26日撮影]。眼下に連なる山並みを輝く太陽が照らしました。



広報にしあいづ
2016 (平成28年)

1 月号

発行：西会津町 編集：企画情報課
☎0241-45-2211 (代表)
info@town.nishiaizu.fukushima.jp
http://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/



この広報紙は、環境に優しい大豆油インキを使用しています。